

## 軽耐久 2022 年練習会 参加者遵守事項

参加ドライバーは、以下の事項を熟知し、必ず遵守して頂けますよう、お願い申し上げます。違反者は、本人、チームへの注意を行います。改善されない場合は、主催者判断によって当該ドライバーの走行を禁止する場合がございますので十分注意して下さい。

- ・本日は練習会であって、レースでは有りません。コースには、遅い車両、実技試験実施車なども走行します。周りの状況、車両には十分に注意して走行する事。無理な追い越し、特定の車両への追走、バトルを仕掛ける、あおり運転、パッシング、ホーンの使用、などの行為は厳禁とする。
- ・P 1、P 7、本部、の 3 箇所にはポストを配置する。黄旗、赤旗、緑旗を状況に従って提示する。
- ・ドライバーは原則、P I Tとの通信機器(携帯電話等)を携帯して走行し、コース内でトラブルが発生した場合に、P I Tに状況を報告出来るようにする。
- ・P I T員はトラブルコールが入った場合、直ぐに状況を本部へ報告する。
- ・コース内の死角地点(P 2, P 4, P 6の付近)で、止まっている車を発見したドライバーは直ぐにピットインし、トラブル車の状況と場所を本部へ報告する事を義務付ける。
- ・トラブル、クラッシュ等で自走不能となった車両のドライバーは後続車に十分注意した後、コース外へ速やかに退避する事、その場合、ヘルメットを外してはならない。(車内やコース上に留まったり、コース上を歩行したりしてはならない)
- ・ドライバーは、コース外の安全な場所で本部からのレスキュー車を待つ事。
- ・コース内にレスキュー車が入った時は、全てのポストで黄旗を提示し、走行中のドライバーに告知する。走行中のドライバーは、トラブル車、レスキュー車に十分注意して、走行し、フルコースで追い越しは禁止。
- ・車両の排除を要するなど、大きな作業が必要な事態には、赤旗中断とする。赤旗が提示された場合は、十分減速し十分走行に注意しながらピットへ戻る事、オフィシャルから指示が有った場合には、その指示に従う事。
- ・ポストからの旗の指示は、緑旗の提示によって解除とする。
- ・コース上の規制パイロン、看板、ブロック等は、車両の速度を減速させる為に主催者側で設置する物である。規制地点では、十分に減速し、故意に規制物に触れてはならない。何度も接触等を繰り返す場合には、故意であると見なし、主催者判断により、当該ドライバーの走行を停止させる場合がある。

以上